

# 保護者の皆様へ 新型コロナウイルス感染症対策版 R3 年度



海津市では「あたりまえのことができる家庭教育支援」と「あったかい絆宣言」の取り組みで、家族の絆・地域の絆を深め、家庭の教育力向上を推進しています。  
 新しい生活様式や行動制限が必要な中、おうち時間が増えています。家庭教育学級では、おうちで家庭教育として「子どもと一緒に在宅取り組み」を推進します。

家族のふれあいを大切に、「あったかいきずないっぱいカード」で生活習慣を整える取り組みをしましょう。

手洗いの習慣がありますか？

お家に帰った時、食事やおやつを食べる前は手洗いやうがいの習慣をつけましょう。爪が伸びてないかも気を付けましょう。



子どもの話に耳を傾けていますか？

目線を合わせ、子どもの「聞いて」という気持ちに添ってあげましょう。今日は誰とどんな遊びをしたかも聞きましょう。



寝る時間を決めていますか？

寝る時間を守り生活習慣を整えましょう。十分な睡眠は元気のもとです。大人の都合に左右されないように配慮しましょう。



家庭の約束を作っていますか？

家族で話し合って約束を決めましょう。守れた時は褒め、できなかった時は、「どうしてできなかったか」を話し合しましょう。

約束の例：野菜残さずを食べる、通園鞆の片づけなど自分の身の回りのことや、玄関の靴揃えなど簡単なお手伝い、また親子で読書など親子の時間を楽しむものもいいですね。



## あったかい言葉かけ

- 進んであいさつをします。
- 讚える気持ちを言葉にします。
- 相手を思いやる言葉かけをします。
- 感謝の気持ちを言葉にします。
- 素直にあやまります。

## あったかい絆宣言

幼児期版

～海津市はみんな家族～

## 絆を深める言葉かけ

あいさつ：「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」  
 讚える：「がんばったね」「すごいね」  
 思いやる：「大丈夫？」「どうしたの？」  
 感謝：「ありがとう」「お疲れさま」  
 あやまり：「ごめんなさい」「すみません」

### 【親】

＜子どもが安心し、のびのびと育つ環境をつくるために＞

- 家族で生活習慣を整えます。
- 子どもの姿、取り巻く環境をしっかりと見ます。
- 目線を合わせて絆言葉を伝えます。
- 小さなことでも褒めるくせをつけます。
- いけない事は、親でも過ちを素直に認めます。
- 私たちが誹謗中傷の言葉を使いません。
- 安易にゲーム機やスマホを使わせないように心がけます。

### 【子ども】

＜絆を深め、のびのびと過ごすために＞

- ◇ 家族で約束を決めます。
- ◇ 大きな声であいさつをします。
- ◇ 嬉しいこと、困ったこと、気になること等どんなことも家族に話します。
- ◇ 「ありがとう」「ごめんなさい」と素直に自分の気持ちを言葉で伝えます。
- ◇ 時間を守って行動します。

### 【地域の大人】

＜地域の子どもは、我が子と違って＞

- 「いってらっしゃい」「おかえり」などの声を積極的にかけます。
- よかったことは、一緒に喜び合います。
- いけないことは、いけないと言います。
- 子どもの気になる姿を見かけたときは声をかけます。

### 【園】

＜一人一人が園の中でのびのびと活動できるように＞

- 目線を合わせ子どもの話をじっくり聞いて、見守ります。
- よさを見つけ合う活動を大切にします。
- ルールを守ることの大切さを伝え、安心・安全に園の生活を送ることができるように努めます。
- 常に保護者と連携し協力し合います。

市内小中学校児童生徒、PTA 連合会、青少年問題協議会、生徒指導主事部会、青少年育成推進委員会、教育委員会で作成した児童生徒版を参考にしています。



## カードの使い方

- ◆ 取り組む5日間を決めてがんばりましょう。
- ◆ できた日は○に色を塗りましょう。
- ◆ 子どもの様子をしっかり見て、褒めたり、声をかけたりして絆を深めましょう。

